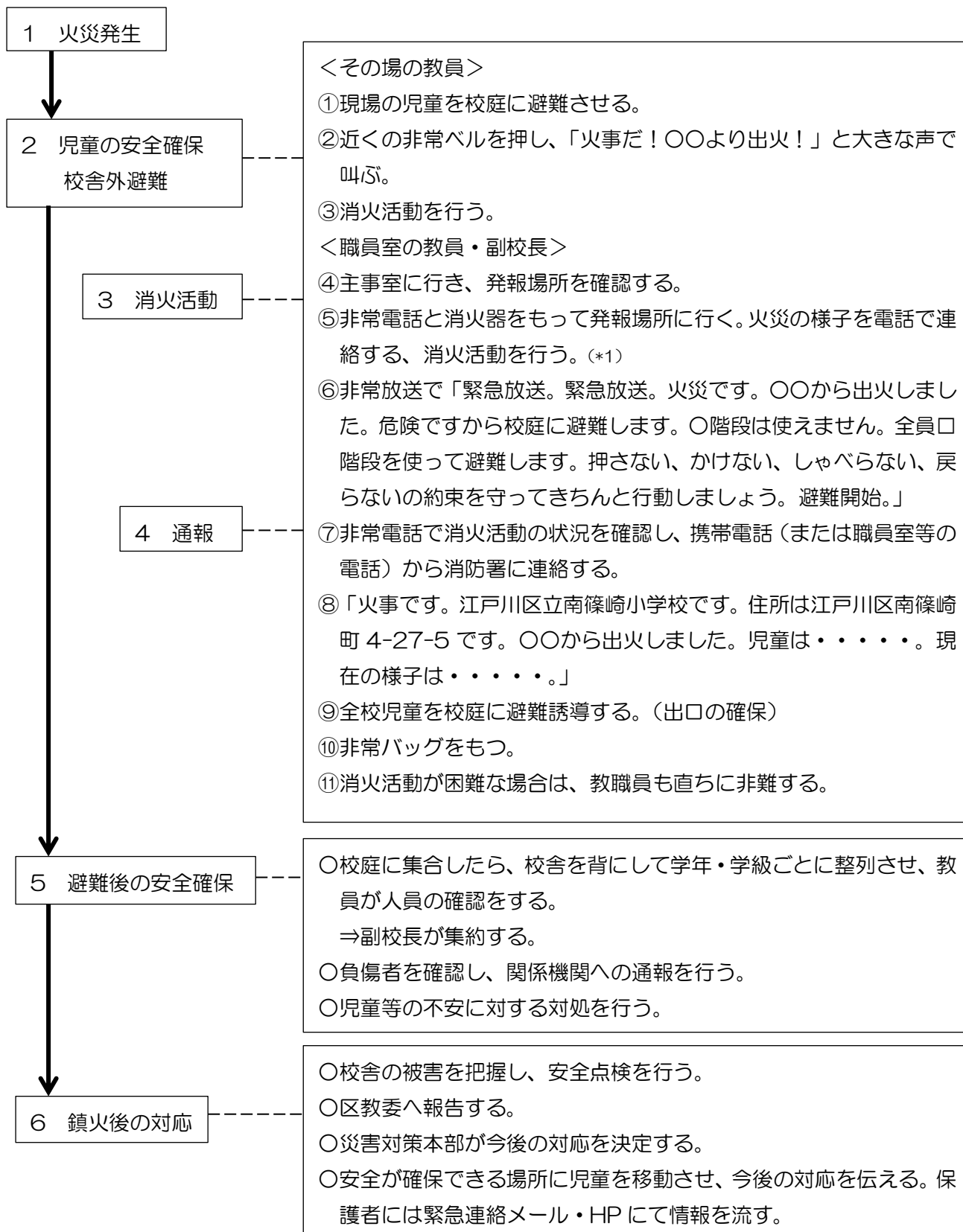


火災発生時の基本的対応要領



*1 火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎留意事項

■平常時

- (1) 毎日、「健康観察表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。
- (2) 非常バッグの中に児童の名簿と引取り者のリストを入れておく。

■授業中（教員が指導しているとき）・・・教員は児童に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 緊急放送をよく聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 「窓を閉めて、カーテンを開ける。扉を閉め、電気を消す。」ことを指示する。
- (3) 児童を廊下に2列で整列させる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「◎おさない◎かけない◎しゃべらない◎もどらない」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときには下の学年を優先して4列で歩く。（間を開けないように）
- (3) 最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、各クラス2列で並ばせる。
*少人数もクラスごとに並ばせる。
- (2) 担任（または専科）が点呼を行い、その場に座らせる。
- (3) 担任（または専科）は副校長に在籍数及び欠席数を報告する。
「〇年〇組 欠席〇名 現在数〇名 異常なし」
～避難完了～
- (4) 専科が点呼を行ったクラスの担任はクラスにつく。

■休み時間等（教員が指導していない時）・・・児童が自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 緊急放送をよく聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 近くの窓を閉め、カーテンを開ける。扉を閉め、電気を消す。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「◎おさない◎かけない◎しゃべらない◎もどらない」を守って安全な避難経路を通過して移動する。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、各クラス2列で並び、
- (2) 教員の指示に従って、待機する。